

講演

モスクワ銀行間通貨取引所（MICEX）ゲンナジー・マルゴリット副総裁

来賓の皆様こんにちは。ご覧のように画像コマーシャルがありますが、実際今非常に興味深い時代を迎えています。ロシアの金融市場はどんどん発展していき、外国投資家に対して大きな可能性が開かれるようになっていきます。まさにこの点に関して短い報告をさせていただきたいと思います。図で示されるように金融市場の規模が拡大しております。これはロシア証券市場の金融資産でございます。これについてより大きなシェアを占めているのがロシアの証券市場でして、時価総額はほぼ3兆米ドルに達しています。ロシア証券の第二市場（上場外）の割合について見てみると、約70%が国内市場での取引量であり、残り30%が欧米での取引となっています。これは正常な割合だといえます。重要な点としてはIPOについて、過去の時点では状況は危険ともいえるもので募集ということはほとんど見られませんでした。IPOがあったとしても外国でのみ行われていました。現在状況は変化しておりまして、ここにいくつかの指数が出ていますが、年々IPO数が増加してきています。ロシア国内の募集のシェアも伸びています。今年はいくつかの大企業やSverbankやVTBなどの大手銀行がIPOによる資金調達を行っております。ロシアの証券取引については大部分がMICEX証券取引所で行われています。具体的な国内状況としては、たとえば2007年の5ヶ月間で取引所市場・店頭市場合わせて80%以上をMICEXが担当しています。残りは店頭市場およびRTSとなっています。MICEX証券取引所はモスクワ銀行間通貨取引所グループの一部で主要株主はロシア中央銀行が28%でその他の大手銀行や証券会社が続いています。MICEXは証券取引だけでなく決済保管・清算機構としての総合サービスセンターとして機能しています。現在ネットワークシステムを使用しロシア全土でサービスを展開しております。ロシア地域に7つの代表支部が存在します。日本に近いところではウラジオストクに姉妹会社のアジア太平洋証券取引所があり、極東地域の投資家や発行会社等に対するサービスを提供中です。システムの効率化も進み、100%電子システム化によりインターネットを介して世界中どこからでも直接市場へのアクセスが可能となっています。600以上の直接取引の企業体が参加しており、シティバンク・ゴールドマンサックスなどのグローバルな投資事業体なども含まれます。日本からも我々の証券取引所の会員になっていただける団体をお待ちしております。我々は会員制としてリモートメンバー制度は採用しておりませんので、ロシア連邦の法人として登録される必要があります。現在640の発行機関中、約200は株式発行体で残りは債権やユニット投資ファンドとなっています。この図は取引高の推移を示していますが、一日の取引額が約60億ドルとなり、ここ一年で取引量は約3倍に増えました。このような流動性の大きさが投資家にとって最も関心が高い部分となっています。取引されている銘柄ですが、「ブルーチップス」と呼ばれる大企業体、例えば石油・ガスセクターのガスプロムや統一電力システムを始めとして、Telecom、Sverbankなどと続きます。中小企業の証券化が遅れていることが気掛かりな点ですが、これらの会社を証券市場に参加させるために努力をしております。その中から将来のブルーチップ企業が徐々に表れてきている状況です。これらを通してロシア経済の多様化を進めていくことが不可欠であり、特にイノベーションセクターが重要となってくると思います。現在市場では国債や社債が活発に売買されており、取引量も増加しています。これらの90%が証券取引所で行われています。REPO市場も重要であり、海外投資家にとっても非常に興味深い銘柄がございます。証券取引所でオペレーションを行う投資家はすべて登録を行い、大部分を占めるのが個人投資家ですが、この1年で投資家の数は倍加しておりハイテンポな増加傾向を見せています。いわゆる小口投資家の総数は30万ほどで、ロシアのような大きな国家としては相対的にみて大きな数とは言えませんが、大きなポテンシャルを秘めている状況です。ここ

で当然ながら個人投資家は主な流動性の原因とはなっていません。海外投資家のシェアがこの1年で16%、成長市場では26%と非常に速く伸びてきています。これは海外投資家が保守的ながら積極的にロシアへの投資を行っていることを示しています。この図で海外投資家による取引量の増加が示されています。最後に今後の課題として、我々は現在新しいセグメントの拡大を図っておりまして、証券の流動性の向上に精力を傾けています。また海外投資家にとって特に重要な中央保管機関の整備や国内の清算機構の設立も大きな課題です。国内でまだ発展途上のデリバティブ市場にも投入しています。この図では世界の証券市場におけるMIGEXの位置を示したのですが、既に世界10大市場のステータスを占めるようになってきました。未だ東京証券市場の7分の1ほどの規模ですが、今後急激な伸びを見せるものと期待しております。このように我々としてはMIGEX証券取引所はグローバル市場で東京とロンドンの中間ぐらいの規模に上っていただろうという展望を持っています。御清聴ありがとうございました。